

大学等における修学の支援・機関認定申請書（HP 公表用）

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	国際高等専門学校
設置者名	学校法人金沢工業大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
/	電気電子工学科 (平成30年度より募集停止)	夜・通信	0	0	7	7	7	無し
	機械工学科 (平成30年度より募集停止)	夜・通信			8	8	7	無し
	グローバル情報学科 (平成30年度より募集停止)	夜・通信			8	8	7	無し
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/education_information/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/education_information/</a> (「実務経験のある教員が担当する授業科目の一覧表」及び「実務経験のある教員等の名簿」を掲載)
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際高等専門学校
設置者名	学校法人金沢工業大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>ホームページにて公表  <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/</a>          学園の状況をクリック（下記ページにジャンプ）  <a href="https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html">https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html</a></p>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 代表取締役社長	2018. 6. 1～ 2020. 5. 31	国際化支援担当
非常勤	株式会社 代表取締役会長	2019. 4. 1～ 2020. 5. 31	地方創生支援担当
非常勤	株式会社 代表取締役会長	2018. 6. 1～ 2020. 5. 31	研究支援担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際高等専門学校
設置者名	学校法人金沢工業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学習支援計画書(シラバス)には、①科目の基本情報、②科目概要、③教科書及び参考書情報、④授業方法、⑤評価基準(評価項目、評価方法)、⑥学生の到達目標または行動目標、⑦各回の授業内容(1年間の授業計画)と学習課題、⑧補足情報(受講上の注意、資格試験との関連、オフィスアワー)が明示されています。</p> <p>学習支援計画書は、前年度12月を目途に科目担当者を決定し、作成を依頼します。科目担当者は2月頃を目途に学習支援計画書案を作成し、各学科長と教務主事が確認、修正したうえで、初回の授業にて学生に配付し記載内容を説明しています。同時に、本校ホームページにも学習支援計画書を公表しています。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校ホームページにて公表</p> <p><a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/students/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/students/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本校における学業成績の評価は、試験の成績、平素の学習状況および出席状況等を総合し、学習支援計画書(シラバス)に記載した評価方法に従って行います。学業成績は、学期末に科目ごとに、それぞれの科目の担当教員が評価します。授業開講時間数の5分の4以上出席している者について、その科目の履修が終了したものと認め、学年末成績の評点が60点以上の科目について、その科目の単位を修得したものと認定します。</p> <p>本校は、各科目担当者が授業の成果物や答案を、成績評価のエビデンスとして保存することにより、厳格かつ適正な評価を確保しています。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業成績の評点と評定は以下の通りとなっています。</p> <p>評定S(秀): 評点100~90、評定A(優): 評点89~80、評定B(良): 評点79~70、評定C(可): 評点69~60、評定D(成績不良): 評点59~0、評定F(出席不良): 評点0</p> <p>本校のGPAは評定に以下の通り評価ポイントを設定しています。</p> <p>評定S(秀): 4ポイント、評定A(優): 3ポイント、評定B(良): 2ポイント、評定C(可): 1ポイント、評定D(成績不良)・F(出席不良): 0ポイント</p> <p>学生は年度末に成績通知書に記載された成績状況をGPAにより確認できます。GPAは成績評価のほか、今後の修学指導における基礎資料や、本校特別奨学生の選考、就職指導、大学への進学資料(大学への編入学推薦出願資格)の基礎資料にもなります。</p>	
$GPA = \frac{(\text{評価ポイント} \times \text{単位数}) \text{の総和}}{\text{履修科目の総単位数}}$	<p>(注) GPAは、計算結果の小数点以下3桁目を四捨五入し、小数点以下2桁までとします。</p>
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>本校ホームページにて公表</p> <p><a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/student_handbook/114-146p.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/student_handbook/114-146p.pdf</a></p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

《国際理工学科》

国際理工学科は、グローバルに活躍するイノベーターの素養を身につけた実践的・創造的技術者を養成することを目的に、学生に次の能力及び行動規範を身につけることを求めています。

- I 社会に貢献するリーダーとしての人間力
  - 1. 革新への挑戦
  - 2. 社会的使命感
  - 3. リーダーとしての高潔
- II グローバルに活躍できるコミュニケーション能力
  - 1. コラボレーション
  - 2. 多様性とアイデンティティ
  - 3. 心を動かす力
- III イノベーターに相応しい卓越した科学技術力
  - 1. 価値創出
  - 2. 自然・社会・産業と結びつけた科学的思考
  - 3. 常に学び続ける姿勢

これらの認識の下、本校の教育理念と教育目的に沿って設定された授業科目や教育プログラムを履修し、基準となる単位数を取得することが卒業の要件である。

本校における卒業までのプロセスは、教員会議および教務委員会で卒業予定者の各要件を確認し、校長や各学科長などで構成された学務会議へ上申し、卒業を決定しています。

《電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科》

電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科の学生へは、以下を卒業時に身につけるべき学力や素質・能力として求めています。

- I 人間性
  - ①自分で考え、主体的に行動することができる。
  - ②技術者としての倫理や責任に基づいた意志決定ができる。
- II 創造性
  - ③専門知識・技能を組み合わせ、ものづくりができる。
  - ④メンバーとしての自覚と責任を持ち、リーダーシップを発揮できる。
- III 国際性
  - ⑤英語でコミュニケーションができる。
  - ⑥国際感覚や異文化を理解し受け入れることができる。
- IV 基礎力
  - ⑦自然科学（数理科目）および工学の基礎を理解できる。
  - ⑧論理的な考え方ができる。
- V 専門力
  - ⑨専門知識と技能を用い工学的な問題を解決できる。
  - ⑩科目間の相互関連性を理解し、専門全体を俯瞰できる。
  - ⑪各学科で推奨する資格を取得できる。

これらの認識の下、本校の教育理念と教育目的に沿って設定された授業科目や教育プログラムを履修し、基準となる単位数を取得することが卒業の要件である。

本校における卒業までのプロセスは、教員会議および教務委員会で卒業予定者の各要件を確認し、校長や各学科長などで構成された学務会議へ上申し、卒業を決定しています。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本校ホームページにて公表

<https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/04/p93-121.pdf>

[https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/ideals/three\\_policies/](https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/ideals/three_policies/)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	国際高等専門学校
設置者名	学校法人金沢工業大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/</a> 学園の状況をクリック (下記ページにジャンプ) <a href="https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html">https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/</a> 学園の状況をクリック (下記ページにジャンプ) <a href="https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html">https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html</a>
財産目録	ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/</a> 学園の状況をクリック (下記ページにジャンプ) <a href="https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html">https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html</a>
事業報告書	ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/</a> 学園の状況をクリック (下記ページにジャンプ) <a href="https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html">https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html</a>
監事による監査報告 (書)	ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/organization/</a> 学園の状況をクリック (下記ページにジャンプ) <a href="https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html">https://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/gakuenjokyo.html</a>

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称 : _____)	対象年度 : _____ )
公表方法 :	
中長期計画 (名称 : _____)	対象年度 : _____ )
公表方法 :	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 : 本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/h26.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/h26.pdf</a>
--

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法 : 本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/evaluation/accredited/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/evaluation/accredited/</a>
--

### (3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

#### ①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 各学科共通
教育研究上の目的（公表方法：本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/education_informationir_01.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/education_informationir_01.pdf</a> ）
（概要） 本校は、学校法人金沢工業大学が定める建学綱領（高邁な人間形成、深遠な技術革新、雄大な産学協同）の精神に則り、教育基本法及び学校教育法に従い、理学・工学の幅広い学芸を教授し、グローバルに活躍するイノベーターの素養を身につけた創造的・実践的技術者の養成を教育研究上の目的とします。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/education_informationir_01.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/education_informationir_01.pdf</a> ）
（概要） 本校は、平素学生の本分を全うし、かつ勉学に精励したものと認められる 5 年生のうち、以下の条件をすべて満たしている者について、校長が卒業を認定します。 国際理工学科は、グローバルに活躍するイノベーターの素養を身につけた実践的・創造的技術者を養成することを目的とする教育実践により、準学士（工学）と称するに相応しい学力と人間性を備え、且つ、第 5 学年の課程を修了した者に対し卒業を認定します。 電気電子工学科は、電気・電子工学及び情報技術分野に関する専門的能力を有する実践的技術者の養成を目的とする教育実践により、準学士（工学）と称するに相応しい学力と人間性を備え、且つ、第 5 学年の課程を修了した者に対し卒業を認定します。 機械工学科は、機械工学分野に関する専門的能力を有する実践的技術者の養成を目的とする教育実践により、準学士（工学）と称するに相応しい学力と人間性を備え、且つ、第 5 学年の課程を修了した者に対し卒業を認定します。 グローバル情報学科は、情報分野の専門知識と技術、ビジネスに関する知識、並びにグローバル社会に対応できる英語でのコミュニケーション力を有する実践的技術者の養成を目的とする教育実践により、準学士（工学）と称するに相応しい学力と人間性を備え、且つ、第 5 学年の課程を修了した者に対し卒業を認定します。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校ホームページにて公表  
[https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/ideals/three\\_policies/](https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/ideals/three_policies/)  
<https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/04/p13-37.pdf>)

（概要）

《国際理工学科》

本校は、グローバルイノベーターの素養をしっかりと身につけさせるために、CDIO イニシアチブ\*の理念をカリキュラムに織り込み、学生の主体的な体験を重視するカリキュラムを編成します。

1. 課題発見・解決力を高める。

高専入学時から、Open-ended、即ち決まった答えのない問題について解決策を探るプロジェクトを早い段階でスタートさせる。継続的にデザインシンキングを実践する機会を設けて、課題を発見・定義する経験を繰り返し、幅広い研究成果や調査技術を駆使し、課題の解決へと結びつける力を養っていく。

2. 科学的思考力、コミュニケーション能力を鍛える。

他者と協働しながらアカデミックな探究の精神を養うこと、批判的・分析的思考の技術を磨くこと、ディスカッションやディベートを含む効果的なコミュニケーション能力を育成することに努める。

3. よりよい社会づくりに積極的に参画する態度を養う。

地域とのふれあいを意識し、地域社会や自然・環境を調査・研究対象としたプロジェクトを行い、地域貢献を通じて社会の一員としての自覚を醸成する。

4. グローバルに活躍できる英語力を培う。

特に数学、科学、工学における教育伝達的手段として1年次から英語を導入し、徐々に増やしていく。3年次以降はほとんどの授業を英語で行う。

5. 異なる文化や、多様な価値観を持つ人々と協働する力を身につける。

文学と芸術に触れる機会や、世界の人々と協働する体験を通じ、創造性と、自身や社会並びに世界に対する深い理解を育む。

《電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科》

電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科は、図1-1の通り学生は学んだことを統合的かつ反復して身につけられるよう構成されています。本校の教育とは、「創造実験・創造設計」を支柱としたものづくり教育で、一般教育と専門教育の連結を強化し「創造性」を醸成する牽引力となるものです。また、人材形成の教育であり、「コミュニケーション能力」や「自己実現力」を学年ごとに高める『人間力』を醸成する人間教育と技術者としての人間性を養成する教育でもあります。

具体的なカリキュラムの全体像は、創造実験・創造設計をものづくり教育の支柱として、これを支える一般教育と専門教育を「楔形」に組み合わせることで、本校の教育実践目標を達成するものです。

人間教育は、教養教育、数理教育、英語教育並びに人間形成教育で構成しており、学年とともに高度化される内容になっています。専門教育は、技術教育、技能教育、情報教育、資格取得及びインターンシップから構成されています。

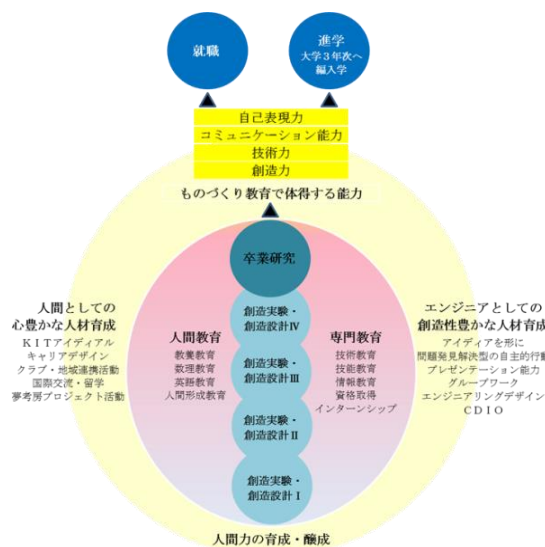


図1-1 国際高専が目指す「人間形成教育」と「創造的技術者育成教育」

一般教育では、人間力の基礎である「計算する」「読み」「書き」「話す」の4つを基本とする教育に視点を置いています。特に、エンジニアの基盤の顕在化を助長するため、工学の基礎である「数学」と「物理」の基礎力の充実を目指しています。「話す」についてはグローバル化時代を視野にいたした国語力の強化と、外国人教員による英語の少人数教育を実施し、「英語によるコミュニケーション能力の向上」に力を注いでいます。

「人間形成」を教育の根本理念とする本校は、「自然学苑教育」を人間教育の主要科目として必須化し、仲間と寝食を共にする合宿教育を行い「人間力の涵養」に努めています。専門教育では、積み上げ式の創造実験・創造設計を教育の中心とした、教育体系を構築しています。ものづくりと専門教育を組み合わせることによって、学生の知識の深化に応じた問題発見・解決能力の発揚を図ります。

各創造実験・創造設計では、エンジニアリングデザイン手法とデザインシンキング手法を独自の観点で取り込むと共に、CDIO教育理念：①「発想する」②「設計する」③「実行する」④「運営する」の要素を修得できるよう基準を再編成し、実践的な技術者に必要な資質の養成を目指します。

※CDIO イニシアチブ：工学教育改革を目指す国際的組織が提唱している理念  
Conceive (発想する) /Design (設計する) /Implement (実行する) /Operate (運営する)

入学者の受入れに関する方針 (公表方法：本校ホームページにて公表  
[https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/ideals/three\\_policies/](https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/ideals/three_policies/))

(概要)

#### 《国際理工学科》

本校は教育目標を「グローバルイノベーターの育成」とし、学生・理事・教職員に対しては、図1-2の通り学園共同体が共有する価値に基づく信条である「KIT IDEALS」を常に意識、尊重することを求め、自身及び学園共同体の向上発展を目指しています。また、グローバルイノベーターの素養をしっかりと身につけるため、1、2年次は全寮制教育にて人間力の陶冶を行い、3年次には1年間の海外留学を義務づけています。

国際理工学科では、上記理念及び教育方法に共感し、次のような行動ができる人を求めています。

1. しっかりとした基礎学力を持ち、科学技術やデザイン (課題の発見・解決)、イノベーション (新しい価値の創造) に興味を持つ人
2. グローバル社会での活躍に強い関心と探究心を持ち、英語でのコミュニケーション能力を高めようとする人
3. 主体的に社会や地域に貢献する意欲を持ち、且つ行動する人

本校では、推薦・一般入試以外に、多様な学生を募集するために留学生や帰国子女を対象とする入学試験を実施する。すべての入学試験にて、主体性や協調性、高い向上心を持つ学生を選抜するために個人面接を行います。選考にあたっては、学力試験、出願書類及び面接により多面的・総合的に評価します。



私たちは、学風共同体として共有すべき価値を“KIT-IDEALS”として定め、これらに基づく信条を次の通りまとめました。  
これを学生、理事、教職員が常に意識し、尊重することにより学風共同体の向上・発展を目指します。

<b>K</b> Kindness of Heart [思いやり的心]	私たちは敬意、感謝、謙虚の心を持つことに努め、明るく公正な学びの場を実現します。
<b>I</b> Intellectual Curiosity [知的好奇心]	私たちは情熱、自信、信念を持つことに努め、精気に満ちた学びの場を実現します。
<b>T</b> Team Spirit [互社共助の精神]	私たちは主体性、独創性、柔軟性を持つことに努め、共同と共創による絶えざる改革を進め、前進します。
<b>I</b> Integrity [誠実]	私たちは、誠実であることを大切にし、共に学ぶ喜びを実現します。
<b>D</b> Diligence [勤勉]	私たちは、勤勉であることを大切にし、自らの向上に努力する人を応援します。
<b>E</b> Energy [活力]	私たちは、活動的であることを大切にし、達成や発見の喜びを実現します。
<b>A</b> Autonomy [自律]	私たちは、自律することを大切にし、一人ひとりを信頼し、尊敬します。
<b>L</b> Leadership [リーダーシップ]	私たちは、チームワークを大切にし、自分の役割における自覚と責任を持ちます。
<b>S</b> Self-Realization [自己実現]	私たちは、自らが目標を持つことを大切にし、失敗に墮することなくさらに高い目標に挑戦することに努めます。

図 1 - 2 KIT-IDEALS

《電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科》

電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科では次のような行動ができる人を求めています。

1. エンジニアとして社会に役立ちたい人
2. 基礎学力を持ち、科学技術やものづくりに興味がある人
3. 英語でのコミュニケーション能力を高めたい人
4. 何事にも積極的に挑戦する意欲のある人
5. 誠実で、他人を思いやることのできる人

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本校ホームページにて公表

[https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/education\\_information\\_nir\\_03.pdf](https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/education_information_nir_03.pdf)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
国際理工学科	—	3人	1人	4人	1人	0人	9人
電気電子工学科	—	4人	2人	1人	0人	0人	7人
機械工学科	—	4人	1人	2人	0人	0人	7人
グローバル情報学科	—	5人	5人	0人	0人	0人	10人
一般教科	—	10人	3人	9人	7人	0人	29人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		0人					0人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/staff/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/staff/</a> <a href="https://researchmap.jp/">https://researchmap.jp/</a>						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本校では、専門家による基調講演やグループ討議、発表を行い、組織的な教育力の向上を図っています。</p> <p>昨年度の活動内容は以下の通りです。</p> <p>①. 「授業アンケート」「総合アンケート」調査分析結果に関する研修 毎年、外部調査機関の調査を委託し、学生達の授業ひとつ一つに対する「到達目標」「授業満足度」などを調査しています。調査結果を教員は各々が担当する科目に対して、学生の反応を考慮したうえで、授業内容の充実を図っています。</p> <p>②. 「ポジティブサイコロジー」を学ぶ 金沢工業大学心理科学研究所より講師を招き、ポジティブサイコロジーをテーマにワークショップを実施しました。</p> <p>①・②の様子は、<a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/2018/08/30/4209/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/2018/08/30/4209/</a>で公開しています。</p> <p>③「情報セキュリティ講習会」 当日は、サイバー攻撃や情報漏えいなどのセキュリティ脅威の最新動向について確認するとともに、事件事例や事項防止のための対策を学ぶことを目的として開きました。</p> <p>③の様子は、<a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/2019/03/06/6501/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/2019/03/06/6501/</a>で公開しています。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際理工学科	90人	13人	14.4%	180人	25人	13.9%	0人	0人
電気電子工学科			－%	120人	74人	61.7%	0人	0人
機械工学科			－%	120人	88人	73.3%	0人	0人
グローバル 情報学科			－%	120人	106人	88.3%	0人	0人
合計	90人	13人	14.4%	540人	293人	54.3%	0人	0人

(備考)  
国際理工学科は、平成30年4月より学生受け入れを開始。  
電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科は平成30年4月に学生募集を停止。  
グローバル情報工学科は、平成27年4月に学生募集を停止。

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
電気電子工学科	31人 (100%)	12人 (38.7%)	19人 (61.3%)	0人 (0%)
機械工学科	26人 (100%)	7人 (26.9%)	19人 (73.1%)	0人 (0%)
グローバル 情報工学科	24人 (100%)	6人 (25.0%)	18人 (75.0%)	0人 (0%)
合計	81人 (100%)	25人 (30.9%)	56人 (69.1%)	0人 (0%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)  
花王(株)、東レ(株)、小松ウオール工業(株)、ダイキン工業(株)、東芝エレベータ(株)、(株)別川製作所、(株)SUBARU、小島プレス工業(株)、キヤノン(株)、北陸電力(株)、西日本旅客鉄道(株)、金沢工業大学

(備考)  
グローバル情報工学科は、平成27年4月に学生募集を停止。

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
電気電子 工学科	40人 (100%)	31人 (77.5%)	0人 (0%)	9人 (22.5%)	0人 (0%)
機械工学科	42人 (100%)	25人 (59.6%)	3人 (7.1%)	14人 (33.3%)	0人 (0%)
グローバル 情報工学科	32人 (100%)	22人 (68.8%)	0人 (0%)	10人 (31.2%)	0人 (0%)
合計	114人 (100%)	78人 (68.5%)	3人 (2.6%)	33人 (28.9%)	0人 (0%)

(備考)  
グローバル情報工学科は、平成27年4月に学生募集を停止。

## ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

学習支援計画書(シラバス)には、①科目の基本情報、②科目概要、③教科書及び参考書情報、④授業方法、⑤評価基準(評価項目、評価方法)、⑥学生の到達目標または行動目標、⑦各回の授業内容(1年間の授業計画)と学習課題、⑧補足情報(受講上の注意、資格試験との関連、オフィスアワー)が明示されています。

学習支援計画書は、前年度12月を目途に科目担当者を決定し、作成を依頼します。科目担当者は2月頃を目途に学習支援計画書案を作成し、各学科長と教務主事が確認、修正したうえで、初回の授業にて学生に配付し記載内容を説明しています。同時に、本校ホームページにも学習支援計画書を公表しています。

## ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

《国際理工学科》

国際理工学科は、グローバルに活躍するイノベーターの素養を身につけた実践的・創造的技術者を養成することを目的に、学生に次の能力及び行動規範を身につけることを求めています。

I 社会に貢献するリーダーとしての人間力

1. 革新への挑戦
2. 社会的使命感
3. リーダーとしての高潔

II グローバルに活躍できるコミュニケーション能力

1. コラボレーション
2. 多様性とアイデンティティ
3. 心を動かす力

III イノベーターに相応しい卓越した科学技術力

1. 価値創出
2. 自然・社会・産業と結びつけた科学的思考
3. 常に学び続ける姿勢

これらの認識の下、本校の教育理念と教育目的に沿って設定された授業科目や教育プログラムを履修し、基準となる単位数を取得することが卒業の要件である。

本校における卒業までのプロセスは、教員会議および教務委員会で卒業予定者の各要件を確認し、校長や各学科長などで構成された学務会議へ上申し、卒業を決定しています。

《電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科》

電気電子工学科、機械工学科、グローバル情報学科の学生へは、以下を卒業時に身につけるべき学力や素質・能力として求めています。

I 人間性

- ①自分で考え、主体的に行動することができる。
- ②技術者としての倫理や責任に基づいた意志決定ができる。

II 創造性

- ③専門知識・技能を組み合わせ、ものづくりができる。
- ④メンバーとしての自覚と責任を持ち、リーダーシップを発揮できる。

III 国際性

- ⑤英語でコミュニケーションができる。
- ⑥国際感覚や異文化を理解し受け入れることができる。

IV 基礎力

- ⑦自然科学(数理科目)および工学の基礎を理解できる。
- ⑧論理的な考え方ができる。

V 専門力

- ⑨専門知識と技能を用い工学的な問題を解決できる。

⑩科目間の相互関連性を理解し、専門全体を俯瞰できる。  
 ⑪各学科で推奨する資格を取得できる。  
 これらの認識の下、本校の教育理念と教育目的に沿って設定された授業科目や教育プログラムを履修し、基準となる単位数を取得することが卒業の要件である。  
 本校における卒業までのプロセスは、教員会議および教務委員会で卒業予定者の各要件を確認し、校長や各学科長などで構成された学務会議へ上申し、卒業を決定しています。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	国際理工学科	167 単位	○・無	44 単位
	電気電子工学科	172 単位	○・無	- 単位
	機械工学科	172 単位	○・無	- 単位
	グローバル情報学科	172 単位	○・無	- 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/ir_ict.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/ir_ict.pdf</a> (P.23)		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/ir_ict.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/ir_ict.pdf</a> (P.16, 29~31)		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本校ホームページにて公表 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/education_informationir_06.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/education_informationir_06.pdf</a>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	国際理工学科 (1年次)	3,000,000*円	200,000 円	0 円	※授業料内訳 ①学費 [年額] 1,516,000 円 ②教材等一式 [年額] 308,000 円 ③寮費 [年額] 1,176,000 円
	国際理工学科 (2年次)	3,000,000*円	0 円	0 円	※授業料内訳 ①学費 [年額] 1,516,000 円 ②教材等一式 [年額] 308,000 円 ③寮費 [年額] 1,176,000 円
	国際理工学科 (3年次)	250,000*円	0 円	0 円	※別途以下の費用が掛かります。 (渡航費用は別途必要になります。為替レートは、NZ\$1.00=¥90.00で算出しています。) ①ニュージーランド 国立オタゴ・ポリテクニク授業料 [年額] 1,700,000 円 ②ホームステイ費用等 [年額] 1,050,000 円
	国際理工学科 (4,5年次)	1,600,000 円	0 円	0 円	
	電気電子工学科/ 機械工学科/ グローバル情報学科 (3年次)	726,000 円	0 円	150,000*円	※その他費用内訳 ①施設設備費 [年額] 150,000 円
	電気電子工学科/ 機械工学科/ グローバル情報学科 (4,5年次)	1,044,000 円	0 円	150,000*円	※その他費用内訳 ①施設設備費 [年額] 150,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 本校では、白山麓キャンパスでの全寮制教育を支える学生生活支援施設や、金沢キャンパスでの学生の学習や生活支援を行なう組織として、教育の充実に向けた支援組織として、各種の支援センターを設けています。 詳しくは、 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/education_informationir_02.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/education_informationir_02.pdf</a> で紹介しています。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 本校ではインターンシップなどを実施し、就職サポートを強力に支えています。ここ数年の就職率は100%を達成しています。 詳しくは、 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/after-graduation/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/after-graduation/</a> で紹介しています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本校では白山麓キャンパスには「保健室」「トレーニングジム」「カウンセリングセンター」を、金沢キャンパスには「扇が丘診療所」「スポーツ考房」「カウンセリングセンター」をそれぞれ設置し、学生の心身の健康等の向上に寄与しています。 詳しくは以下で紹介しています。 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/education_informationir_06.pdf">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/education_informationir_06.pdf</a>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本校ホームページにて公表 本校の教員について、 専門分野や研究テーマは以下で公表しています。 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/staff/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/staff/</a> 詳細ページをクリック <a href="https://researchmap.jp/">https://researchmap.jp/</a> 保有学位や最終学歴については以下で公表しています。 <a href="https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/staff/">https://www.ict-kanazawa.ac.jp/about/staff/</a>
--